

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010240

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	教職員用パソコン導入(更新)事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成28年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	配置台数		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
事業目標	60台		関係例規・法令名	無		
住民参加	無		関係個別計画名	無		
住民協働	無					

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	教職員用パソコン更新整備事業	各小中学校教職員用パソコンバージョンアップ作業			雄武小学校 20台 沢木小学校 8台 豊丘小学校 8台 共栄小学校 9台 雄武中学校 17台 計62台 情報共有ネットワークの更新 1,250千円	雄武小学校 20台 沢木小学校 8台 豊丘小学校 8台 共栄小学校 9台 雄武中学校 17台 計62台 新機種配備	
	雄武小 18台 沢木小 8台 幌内小 6台 豊丘小 8台 共栄小 4台 雄武中 16台  計 60台						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	32,424	1,426	0	0	1,250	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	29,748					29,748	
一般財源	2,676	1,426			1,250		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,740	1,571	0	0	1,167	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	2					2	
一般財源	2,738	1,571			1,167		
関 連 事 項	特定財源の名称 備荒資金	【評価・実績】	(実施内容等) 各小中学校教職員用パソコンバージョンアップ作業	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 情報共有ネットワークの更新作業	(実施内容等) 各小中学校校務用パソコン計62台 他周辺機器等整備
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	60台			60台	62台
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	110%	#DIV/0!	#DIV/0!	93%	0%
	全体達成率	5%	5%	5%	8%	8%	
	備考欄						

事業名	教職員用パソコン導入(更新)事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	教育総務係長	高橋 洋祐

様式1  
平成29年度実施  
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	更新整備数	
【抱える課題やニーズは】	使用するパソコンの不具合、OSのサポート期間満了等により更新が必要となる。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	新機種に更新し、校務支援体制の円滑化を図る。	① 整備数	目標年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	教員の事務作業の負担軽減、効率化が図られる。		目標値	平成29年度
			実績値	62台
			達成度	62台
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	パソコン整備	新機種を教職員1人1台ずつ配備し、グループウェアもあわせて活用することで、事務作業の負担軽減を図った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	パソコン、グループウェアは学校運営を行うため必要不可欠であり、更新整備は町が行う事業であります。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町内小中学校におけるすべてのパソコンの更新を実施しており、校務支援体制を確立するため必要な対策を講ずることができていると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	教職員数を考慮し、台数が過大とならないよう整備したことで、事業費は抑制されたと判断します。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町内小中学校において教職員が使用するパソコンすべての更新整備を実施しており、公平性が保たれていると判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
今後もパソコンの劣化状況、OSのサポート期間等を考慮しながら計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止